県内児童プログラミングアワード
低学年チーム「交通安全」大賞
高学年 上田君（宮崎・江平小5年）

上田蒼大君

県内の小学生がプログラミング作品のアイデアや完成度を競う「第6回みやざきジュニアプログラミングアワード」（宮崎日日新聞社主催）の本選は4日、宮崎市の宮日会館であった。大賞は低学年の部が同市のチーム「交通安全」、高学年の部が、江平小5年の上田蒼大君(11)が選ばれた。

「みんなのみらい」をテーマに作品を募集。5個人12チームから応募があり、1次審査を通過した4個人6チームがスライドを使い、作成のきっかけや工夫した点などを発表した。大学や企業の専門家ら4人が審査を行った。

チーム「交通安全」は、自転車に乗る人がゲームやクイズなどを通し交通ルールを身につける学習プログラムを制作。宮崎市の宮崎大付属小3年水野大樹君(8)、大宮小3年永野舜太君(9)、江平小3年黒木心平君(8)の3人のチーム。黒木君は「ゲームをつくるプログラミングは面白い。高学年の部になる来年も大賞、準大賞を目指したい」と話した。

上田君が開発した「BeFree」は、話すことが苦手な人間が、人工知能（AI）を活用し、その場にふさわしい言葉を音声で返すアプリ。2年前にはチームで大賞を獲得し、「応援してくれたプログラミング仲間や家族に感謝している」と喜んでいた。

上田君は、来年3月に東京で開催される全国選抜小学生プログラミング大会に出場する。

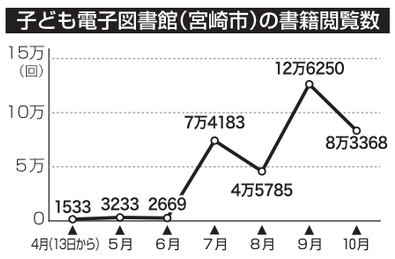
準大賞の受賞者と作品名は次の通り。（敬称略）

低学年の部＝アースクリーン（都城市・大王小2年鎌田蓬生、都城市・大王小3年鵜島伊吹）「うみをきれいにしよう！」▽高学年の部＝鈴木雅貴（宮崎市・宮崎大付属小6年）「お薬管理アプリ」

低学年の部で大賞に輝いた「交通安全」の（左から）黒木心平、永野舜太、水野大樹君＝4日午後、宮崎市・宮日会館

宮崎市が県内初開設、ネットで読書
「子ども電子図書館」好調
ID配り閲覧増、コスト課題

宮崎市が県内で初開設した、インターネットで電子書籍を閲覧できる「子ども電子図書館」の利用が好調だ。市内全公立小中生に利用IDを提供したところ利用が急増し、9月の閲覧数は12万回を超えた。タブレット端末を通じ教育現場でも活用できる。市は読書離れの解消を期待する一方、書籍代が割高で一部は再購入が必要で、ランニングコストの抑制が課題となっている。



コロナ禍で市立図書館の利用が落ち込んだため、読書離れを防ぐため開設。絵本や児童書などを中心に3630冊を導入した。

市教育委員会生涯学習課によると、4月(13日から)の閲覧数は15333。翌月以降も伸び悩んだため6月末から全児童生徒に利用IDを配布し、校長会などを通じて利用を訴えたところ、いつでもどこでも読める利便性が受け、7月は7万4183回、9月は12万6250回と大幅に増えた。ライトノベルや偉人らを学ぶ漫画が人気という。

教育現場でも利用は進む。宮崎小（牧野宏紀校長、412人）では、国語や総合的な学習の授業などで活用。学校では貸し出しできない図鑑を見たり、電子図書館で検索した作家の本を図書室で探したりするのに役立てている。耒住祐子講師(66)は「本の読み方が広がっている。多くの教科で効果的に使い関心を深めたい」と話す。

一方で、価格は1冊が4500円（同図書館平均額）と紙の本と比べ2～4倍。複数人が閲覧できる数十冊のセットは20万円（同）で1年の期限があり、再購入が必要。本年度は国の地方創生臨時交付金を活用できたが来年度以降は市の予算から拠出しなければならない。

このため閲覧数の少ない本のセットは再購入せず、新しいセットと入れ替えてコストを抑制。職員で入念に選書し、関心の高い本を導入する。企業の寄付を募ることも検討している。

同課の大野路子主任主事は「本の面白さを知り、紙の本に触れ、図書館に足を運ぶきっかけになれば幸い」と話している。

（高橋良太、川原智美）

★「プレみや」にも掲載

小児がん全ゲノム解析へ
診断、治療法開発目指す
全国20病院

診断が困難な小児がん患者に最適な治療法を見つけるため、全ての遺伝情報（ゲノム）＝🔍＝を網羅的に調べる「全ゲノム解析」を行い、精度の高い診断や有効な治療につなげる東大病院などのチームの研究が、全国約20の医療機関で11月中に始まる。来年3月までに患者100人に協力依頼し、有効性を検証する予定。

小児がんは年間2千人から2500人が新たに診断される。希少がんや血液がんが多く、種類が多様なため正確な診断や治療選択が難しいことがある。

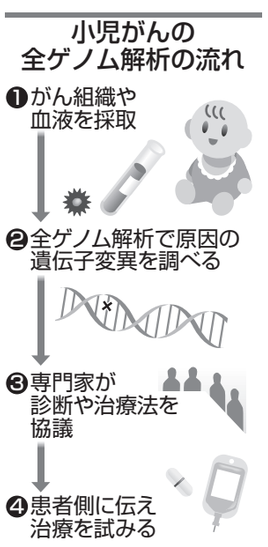
研究は東大病院のほか、京大病院など小児がんを重点的に診療する病院が参加。病院で採取したがん組織や血液などの検体を国立成育医療研究センターに集め、品質確認した後、民間の検査会社が全ゲノム解析する。

解析結果を基に国立がん研究センターでデータを分析。小児がんやゲノムの専門家らで構成する会議で診断や有効な治療について協議し、結果を主治医から患者家族に説明するという仕組みだ。

研究責任者の加藤元博東大教授（小児科）は「小児がんはゲノム変異が成人よりも少なく、その分診断に直結する。治療の方向性や強さを決めるのにも役立つ。将来的には幅広く患者が全ゲノム解析を受けられるようにしたい」と話している。

がんとゲノム

がんは、遺伝子変異が蓄積して発症する。がん組織や血液から原因となる遺伝子変異を調べ、患者ごとに最適な薬を選ぶがんゲノム医療が近年進んでいる。がんに関連する100以上の遺伝子を一度に調べる「パネル検査」が実用化され、原因遺伝子をターゲットとする分子標的薬を使えば高い効果が期待できる。ただがんとの関連が分かっている遺伝子はごく一部で、治療につながる患者は1～2割とされる。そのため全ゲノム解析で網羅的に調べる研究も行われている。



教育研究、地域貢献30年
宮崎公立大で記念式典

開学30周年を迎え、宮崎公立大で開かれた記念式典＝4日午後、宮崎市

宮崎市・宮崎公立大（辻利則学長、896人）の開学30周年記念式典は4日、同大学講堂であった。教育や研究、地域貢献活動を推進する拠点として発展してきた同大学の節目を祝った。

式典には河野知事や清山知憲市長、県選出の国会議員ら約260人が出席。辻学長は「困難や多様性、変化への対応力を身に付ける教育を推進し、自由な発想を生み出していく」とあいさつ。清山市長は「教養あるグローバル人材の育成を積極的に後押ししていきたい」と述べた。

記念事業としてオンライン面接に対応できる学生用ブースを新設し、学生食堂を改修したことを説明。来年3月にグループ学習が可能なホールを図書館に設置することを報告した。

記念講演ではIT企業役員でお笑い芸人の厚切りジェイソンさん(37)が登壇。物事に挑戦する上で「普段の仕事や学業をこなしながら、少しずつやりたいことに力を入れた方が成功しやすい」と学生に伝えた。このほか、ボランティア活動などをテーマにした学生の発表コンテストもあった。

（高橋良太）

AV救済法 認知度1割
15～39歳女性、浸透課題
政府調査

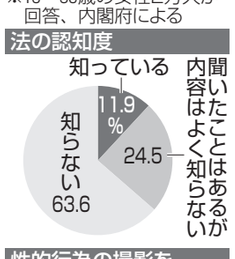
出演契約の解除権などを定めたアダルトビデオ（AV）出演被害防止・救済法について、施行から約8カ月後の今年2月に内閣府が実施した調査で、15～39歳の女性の認知度が約1割にとどまっていたことが4日までに分かった。被害に遭いやすい年齢層へ浸透していない懸念があり、内閣府の担当者は「交流サイト（SNS）など、若者がよく使う媒体での周知に努めたい」としている。

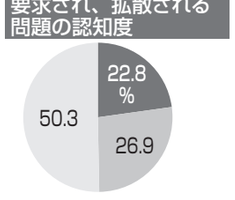
内閣府によると、性暴力に関するアンケートで女性2万人が回答した。モデルなどに誘われて性的行為の撮影を求められ、映像や画像が拡散される問題について「知らない」との回答が約半数。こうした問題に対処できる救済法を「知っている」は11・9％に過ぎず、「聞いたことはあるが内容はよく知らない」が24・5％、「知らない」が63・6％だった。

救済法を知っているほど、望まない撮影に応じにくい傾向も判明。応じてしまったケースでは、救済法を知っている人の84・1％が公的機関などに相談していたが、知らない人で相談したのは33・3％にとどまった。

救済法は昨年6月に施行された。事業者に契約書の交付などを義務付け、違反行為の罰則を規定。映像が公開されても1年間（施行後2年までは2年間）は無条件で契約を解除できるとしている。

AV出演被害防止・救済法に関して
※15～39歳の女性2万人が回答、内閣府による





西都27・7度 県内各地夏日

県内は4日、高気圧に覆われて晴れ、各地で気温が上昇した。西都市で27・7度を観測するなど、全17観測地点中14地点で、最高気温が25度以上の「夏日」となった。

各地の最高気温は日向、都城、串間市でいずれも27・0度、宮崎市26・5度など。平年より5度前後高かった。

宮崎地方気象台によると、5日の県内は気圧の谷や湿った空気の影響でおおむね曇りで、昼すぎから雨が降る所がある見込み。最高気温は日南市油津、都城市26度、宮崎市25度、延岡市24度、高千穂町22度と予想されている。

山に学生遺体 ヒグマ襲撃か
北海道

北海道南部の大千軒岳（1072メートル）で男性の遺体が発見され、松前署は4日、遺体は函館市港町2丁目、大学生屋名池奏人さん(22)で、死因は出血性ショックだったと明らかにした。遺体の近くでヒグマの死骸が見つかっており、署はクマに襲われたとみている。

署によると、屋名池さんは友人に「10月29日から1人で山に行く」と伝えた後、行方不明になった。遺体は11月2日に発見され、DNA型鑑定で身元を特定した。10月31日午前に近くでクマに襲われた3人が「ナイフでクマの首を刺した」と話しており、同じヒグマが連続して襲撃した可能性がある。

スマホ撮影か 橋から転落死
静岡で20代女性

4日午前9時40分ごろ、静岡県東伊豆町片瀬の要害橋で「娘が橋から落ちた」と110番があった。静岡県警や地元消防が捜索し、約2時間半後、約40メートル下の谷で女性を救助したが、搬送先の病院で死亡が確認された。千葉県の20代女性とみられ、県警が身元を調べている。「シカが見たい」と1人で車を降り、スマートフォンで撮影をしていた際に誤って転落した可能性があるという。

宮日会館の催し

【アトリエミヤタ「木の手仕事展」】1階イベントプラザ＝午前10時～午後5時。本日まで。入場無料。

【第4回羊心会書作展】2階ギャラリー＝午前10時～午後4時。本日まで。入場無料。

硫黄山情報（4日午後10時現在）
火山性地震　2回
火山性微動　0回

■ペルーと外交150年記念 佳子さま式典出席

【リマ共同】ペルーを公式訪問中の秋篠宮家の次女佳子さまは3日（日本時間4日）、首都リマの外務省トーレタグレ宮で、日本とペルーの外交関係樹立150周年記念式典に出席された。あいさつで「両国の歩んできた歴史に思いをはせるとともに、訪問先で交流を深め、ペルーの魅力や素晴らしさをより深く知りたい」と述べた。

秋篠宮ご夫妻や姉小室眞子さんから過去の訪問時の思い出を聞き「家にはペルーの本やアルパカの縫いぐるみがあり、ペルーの音楽を楽しむ機会も多かった」と紹介し、自身もペルーに親しみを感じていると語った。

式典で、着物姿の佳子さまはイゲラス外務副大臣と記念切手のパネルを除幕し＝写真、拍手した。

■岸田首相の偽動画拡散

岸田文雄首相の声や画像を使い、性的な発言をしたように見せかけた偽の動画が交流サイト（SNS）上で拡散していることが4日、分かった。首相の声を生成AI（人工知能）に学習させて作られたとみられ、日本テレビのニュース番組のロゴが使われていた。

同社は「日本テレビの放送、番組ロゴをこのようなフェイク動画に悪用されたことは、到底許すことはできない」として、しかるべき対応を取るとしている。

偽動画では、スーツ姿の岸田首相が口元を動かしているような様子で、カメラに向かって発言する姿が写っている。動画は画面の端に「日テレNEWS24」のロゴが使われており、X（旧ツイッター）などで拡散された。

■香港で鹿児島焼酎PR

【香港共同】香港で4日、鹿児島県の焼酎の認知度を向上させようと、香港島を走る2階建て路面電車「トラム」を貸し切って、招待した香港市民などにトラムで街中を移動しながら焼酎を楽しんでもらうPRイベントが行われた。

同県香港事務所が主催。交流サイト（SNS）で影響力を持つ「インフルエンサー」やメディア関係者、抽選で選ばれた市民が参加し16銘柄の焼酎を試飲した。

参加者の40代の女性は「それぞれ香りや味が違って楽しめた。自宅でも飲みたい」と語った。

■大阪で花火大会、万博ソングとシンクロ

大阪府泉佐野市の市制施行75周年を記念した花火大会「大阪湾りんくう芸術花火2023」が4日、市内で開かれた。約1時間、休みなく打ち上げ続けるのが特徴。2025年大阪・関西万博開催を記念し、宮崎市出身の小渕健太郎さんがメンバーの男性デュオ「コブクロ」が歌う、万博テーマソング「この地球（ほし）の続きを」などの音楽とシンクロした、鮮やかな花火が大阪湾の空を彩った。

午後6時ごろ開幕。花火は音楽の曲調や歌詞と同期するよう綿密にプログラムし、空高く打ち上げられた。本県や福岡県など、11道府県の花火師が参加した。

■史料を後世へ、熊本大がクラウドファンディング

所蔵史料の保全や修復のため、熊本大はクラウドファンディング（CF）で資金を募っている。1口1000円からで目標金額は300万円。史料をインターネットで公開する国際規格のデジタルアーカイブの整備も見据える。担当者は「史料の保全と研究の継続のためには資金が必要だ」と訴える。

熊本大が所蔵する熊本藩筆頭家老松井家の文書は約3万6000点に及ぶが、虫食いなど劣化が進み、研究や外部の機関への貸し出しに支障を来している。大学予算は年度内に使い切る必要があり、年度をまたぐ期間がかかる修復は難しいことからCFに乗り出した。

松井家文書からは近年、宮本武蔵の晩年や、細川家が薩摩に派遣した密偵に関する記録が見つかった。

令和5年度
森林の仕事就業相談会
参加予約不要
参加者には弁当付き
hinata MIYAZAKI

日時・場所
令和5年
11月25日(土)
(受付 9:15～10:00) 10:00～16:00
JA・AZMホール 別館3階
宮崎市霧島1－1－1
県内の林業事業体で働きたい方
お気軽にお越しください！
内容
【午前】●森林の役割・林業の仕事の説明
●林業事業体との個別面談
【午後】●林業現場の見学
お問い合わせ
公益社団法人 宮崎県林業労働機械化センター
TEL 0985-29-6008
URL www.ringyokikai.jp

第43回 市民一斉清掃
きれいなまちづくりを みんなの手で！
日時
11月12日(日)
❶開始及び終了時間は各自治会により異なりますので、各自治会にお問い合わせください。
❷ごみ収集は10時30分から開始しますので、10時までには清掃を終えてください。
❸小雨決行ですが、荒天の場合は19日に延期します。
■主催／宮崎市自治会連合会
〒880-0001宮崎市橘通西1丁目1-2（市民プラザ3F）
TEL0985-61-9065 FAX0985-61-9066
■後援／宮崎市・宮崎市教育委員会・27の地域まちづくり推進委員会

〈大塚地区自治会連合会提供〉
自治会活動で、明るく住みよいまちづくりを！
自治会では、明るく住みよいまちづくりのために、交通安全、福祉、防災・防犯、環境整備、健康・文化などの活動を行っています。自治会に加入して、みんなで力をあわせて、明るく住みよいまちづくりをしましょう。自治会加入については、あなたの住んでおられる地区の自治会長さんか市自治会連合会事務局（電話61-9065）へお尋ねください。

新聞広告のお申し込みは…
宮日新聞広告〈営業広告・記事体広告・落成オープン広告〉
宮日生活情報紙きゅんと、宮日こども新聞 etc…
宮日総合広告 ☎(0985)77-5555
都城宮日サービスセンター ☎(0986)24-5629
延岡宮日サービスセンター ☎(0982)31-2851